

分かる言葉を増やし、表現を促す小学部国語の授業

～言葉のよさを感じ、豊かに表現する児童の姿を目指して～

四方田 愛美 (熊本大学教育学部附属特別支援学校)
仁野平 智明 (熊本大学大学院教育学研究科)

岩下 佳美 (熊本大学教育学部附属特別支援学校)
菊池 哲平 (熊本大学大学院教育学研究科)

1 対象児童について

学習グループ

小学部国語科
2～3段階

- 言葉によるコミュニケーションができる。
- 簡単な言語指示は、聞いて理解できる。
- ▲複雑な言語指示の理解は難しい。
- ▲経験不足、興味関心の狭さから、言葉の意味理解が不十分。
- ▲発表に使う言葉や表現が乏しい。

	4年Aくん	4年Bくん	4年Cくん	3年Dさん
言語表出(年齢)	6-10	3-5	3-6	4-9
言語理解(年齢)	6-11	4-0	3-9	4-9

言語・コミュニケーション発達スケール(LCスケール)結果(参考)

教育的ニーズ

分かる言葉が増える
表現が豊かになる

2 仮説

言葉を知り、**知** 使う場面を考え表現する **思** 授業をすることによって **学** 語彙が増え表現が豊かになる。

3 方法

題材名 「言葉を楽しもう」 全12時間

目標

知識及び技能 知	・お話しに出てくる 言葉の意味や様子、使い方を 知り、 言葉とイメージを結びつける ことができる。
思考力・判断力・表現力等 思	・学んだ言葉を使って、 自分の経験に置き換えて考え、表現 する。
学びに向かう力、人間性等 学	・言葉が持つよさやおもしろさを感じ、 いろいろな言葉を使おうとする 。

学習活動

【単元の構成】

前半:「**言葉調べ**」**知**
後半:学んだ言葉を使った「**表現**」

【「表現」1時間の授業の構成】

- ・音読
- ・読み聞かせ
- ・**やってみよう(動作化)** **知**
- ・**自分のことを考えよう** **思**
- ・**自分のことを話そう(発表・共有)** **学**
- ・振り返り **知** **思**

4 授業の実際

児童の姿

授業の評価

言葉調べ **知**

言葉(例:「のぞく」)



本、絵辞典
(意味、イラスト)



タブレット
(動画、写真)

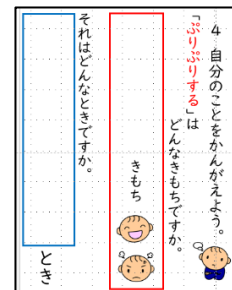


具体物
(動作化、体験)

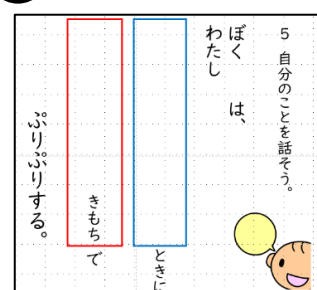
様々な調べ方を知り、調べる活動を主体的に楽しむようになった。

言葉調べで言葉を多面的に捉える→話の情景や言葉に潜む感情等をイメージ
相互作用で言葉の本質的な意味の理解

発表・共有場面 **思**



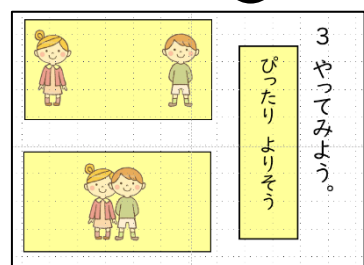
学んだ言葉は自分の生活の中でどんなときに当てはまるのかを、一生懸命考えるようになった。発表への意欲が高まり進んで発表するようになった。



言葉をより身近に感じることができた。共有・共感→表現への意欲や自信につながった。
理解語彙→使用語彙へ



★動作化 **知**



言葉調べで調べた言葉を進んで動作化。友達の動作を見て「あってる」「ちょっと違う」

どのような動作が言葉に合うかを考え、やってみる。→言葉とイメージが結び付いた。「違う」という違和感→思考

振り返り

学習した言葉はどっち?

Which型

知 **思**



少しニュアンスの違うイラストや動作、言葉と比べて、学習した言葉はどちらか、考えて選ぶことができた。

思考・判断と知識の定着を促すことができた。言葉で説明できる児童に関しては、どのような違いがあるのかを説明してもらうことで、本質的な理解を深めることにつながった。

5 成果 **主** 豊かに表現する児童の姿

場面に遭遇した時、国語で学んだ言葉が思い浮かび、言葉を発する姿

Bくん 飛び散る水を見て **しぶき!**

Cくん 公園の芝生を見て **くさはらだ!**

会話や他の学習、遊びの場面において、国語で学んだ言葉を使い表現する姿

Aくん お母さんが **にっこり**してた!

Dさん 音楽で曲の感じを尋ねられて **にっこり!嬉しい感じ**

枯れ葉を「**かつおぶし**」に見立ててサラダづくり

生きた言葉に!

多様な言葉を複数使って書いたり発表したりする姿

指導前:「おにごっこをして**楽しかった**です。」→1語で表現

指導後:「**楽しかったけど、つかれました。**
「**こわかったけど、きれいでした。**
「**大変でした。楽しかった**です。」 →**文脈ができてきた**

学校生活以外の場面で、相手に分かりやすく話す姿

◎電話で話した祖父の感想

指導前「他の人に代わって」→指導後「話がよく分かるようになった」

仁野平准教授 より

「たのしい」「うれしい」「たのしすぎた」等の言葉を使い分けたということは、言葉による認識が細分化されたということ。多様で多層的な表現になっており、豊かな表現になっていると言える。